

第 32 期

事業報告書および決算書

彦根総合地方卸売市場株式会社

第 32 期事業報告書

(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日)

彦根総合地方卸売市場株式会社（以下「当社」という。）の第 32 期の事業報告について次のとおりご報告申し上げます。

当社が運営しております彦根総合地方卸売市場（以下「当市場」という。）は、本年 3 月で開場 28 年を迎えました。

当社は、当市場が、卸売市場法に基づく生鮮食料品の供給拠点として、その機能を十分発揮できるよう、卸売市場の公共的役割を踏まえつつ、安全・安心な食材を安定的に供給するよう最善の注意を払い事業を推進してまいりました。

当市場の卸売業者は、青果部に「株式会社オーミ青果」、水産物部に「彦根魚市合同株式会社」の 2 社です。他に買受人の利便性を高めるため、関連事業者 8 社が入場しております。また、当市場を利用する小売・飲食店等の買受人の登録数は、今期中で 7 名減少し期末で 336 名となっていて、平成 13 年度以降毎年減少しております。

次に、当市場の取扱状況につきましては、今期中の取扱数量と金額の状況として、青果部が 1,701 トンで 558,848 千円、水産物部 109 トンで 182,396 千円となっており、総取扱数量は 1,810 トンです。また、前年同期の取扱数量との比較では、青果部が 91.10%、水産物部が 92.37%、全体で 91.18%となっております。取扱高減少の要因として、青果部にあっては、相次ぐ台風による近年稀に見る品不足などが販売に影響したこと、水産物部にあっては、小売店や料理店による仕入れ量が減少したことや特に今年 3 月からは新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことによります。

続きまして当社の営業成績ですが、当社の売上高は、卸売会社 2 社、関連事業者 8 社、彦根市および社会福祉協議会からの施設使用料や彦根市学校給食センター用地に係る土地賃貸料収入が主なもので、当期では 33,813 千円となりました。営業外収益として給食センター受託業者従業員に係る駐車料などが主なものであり当期では 2,360 千円でした。特別利益として彦根市から人件費に対する助成として 14,468 千円をいただきました。収入の合計は、50,641 千円となり前期より 5,625 千円の減収となりました。支出としての販売費および一般管理費が 43,379 千円となり、前期より 7,510 千円の減額となりました。最終、当期純利益は前期より 1,195 千円増額の 3,851 千円となりました。

続きまして、第 32 期の具体的事業の概要としては次のとおりです。

- 1 当市場施設利用者に対する支援として、施設使用料の減免措置を講じました。
- 2 当市場施設利用者の共益費や各種機器の保守点検委託料について、徹底したコスト削減と委託内容の見直しに取り組み、当市場施設利用者の負担削減につなげました。さらに照明設備のLED化により省電力を図ることで、電気料金を約20万円削減しました。
- 3 空き店舗や空き事務所の解消として、地方新聞への募集記事の掲載、ホームページや市内外の不動産業者を通じての借受人の募集などを行いました。
- 4 長年補修がされていないため老朽化が甚だしい施設と、台風被害による修繕工事は、必要最低限行い、今期の修繕料として5,550千円支出しました。
- 5 当市場の活性化や開かれた市場を目指すために次の事業を行いました。

① 小学生を対象とした見学会と食育授業「魚を上手に食べよう」を実施しました。

今期は、南地区公民館キッズチャレンジ、城東小学校、若葉小学校および亀山小学校の児童111名の来場がありました。

② 関連店舗による「土曜市」を1回開催しました。

開催時間2時間内に250人の来場者がありました。

6 資産勘定で次の設備更新等を行いました。

滋賀銀行から10,000千円の長期借入を行い、青果部冷凍設備更新と市場内の照明設備のLED化を行いました。その他2階事務所棟のLED化工事や水道減圧弁設置工事などを行いました。以上が、第32期の事業報告となります。

当社といたしましては、当市場の長期にわたる新型コロナウイルス感染症の深刻な影響を危惧しておりますが、今後とも当市場が市民生活を支え続ける持続可能な市場として維持していけるよう事業展開をしてまいります。

決 算 報 告 書

第 3 2 期

自 平 成 3 1 年 4 月 1 日

至 令 和 2 年 3 月 3 1 日

彦根総合地方卸売市場株式会社

貸 借 対 照 表

(単位：円)

彦根総合地方卸売市場株式会社

令和 2年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 29,779,761】	【流 動 負 債】	【 17,217,692】
現 金	25,468	未 払 金	2,899,965
預 金	26,884,184	前 受 金	143,000
未 収 入 金	2,870,109	預 り 金	192,612
【固 定 資 産】	【 432,782,190】	未 払 法 人 税 等	1,850,800
(有形固定資産)	(431,507,238)	預 り 保 証 金	12,131,315
建 物	48,322,102	【固 定 負 債】	【 9,668,000】
建物付属設備	17,439,962	長 期 借 入 金	9,668,000
構 築 物	1,443,493	負 債 の 部 計	26,885,692
車 両 運 搬 具	2		
工具器具備品	3		
土 地	364,054,249	純 資 産 の 部	
一括償却資産	247,427	【株 主 資 本】	【 437,787,533】
(無形固定資産)	(224,952)	[資 本 金]	[400,000,000]
電 話 加 入 権	224,952	[利 益 剰 余 金]	[37,787,533]
(投資その他の資産)	(1,050,000)	(その他利益剰余金)	(37,787,533)
出 資 金	1,050,000	繰越利益剰余金	37,787,533
【繰 延 資 産】	【 2,111,274】	(うち当期純利益)	(3,850,541)
繰 延 資 産	2,111,274	純 資 産 の 部 計	437,787,533
資 産 の 部 計	464,673,225	負債・純資産の部計	464,673,225

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成31年 4月 1日

彦根総合地方卸売市場株式会社

至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
賃 貸 料 収 入	25,860,683	
土地賃貸料収入	7,952,000	33,812,683
売 上 総 利 益		33,812,683
【販売費及び一般管理費】		43,378,604
営 業 利 益		△9,565,921
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	1,191	
雑 収 入	2,358,966	2,360,157
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	36,331	36,331
経 常 利 益		△7,242,095
【特 別 利 益】		
補 助 金 収 入	14,468,464	14,468,464
【特 別 損 失】		
固定資産除却損	167,728	167,728
税引前当期純利益		7,058,641
法人税、住民税及び事業税		3,208,100
当 期 純 利 益		3,850,541

株主資本等変動計算書

彦根総合地方卸売市場株式会社

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

株主資本		
資本金		
当期首残高		400,000,000
当期末残高		400,000,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高		33,936,992
当期変動額	当期純利益	3,850,541
当期末残高		37,787,533
その他利益剰余金合計		
当期首残高		33,936,992
当期変動額合計		3,850,541
当期末残高		37,787,533
利益剰余金合計		
当期首残高		33,936,992
当期変動額合計		3,850,541
当期末残高		37,787,533
株主資本合計		
当期首残高		433,936,992
当期変動額合計		3,850,541
当期末残高		437,787,533
純資産合計		
当期首残高		433,936,992
当期変動額合計		3,850,541
当期末残高		437,787,533